

## 平成28年度岐阜県統計グラフコンクール審査結果について

- 主 催 岐阜県
- 後 援 岐阜新聞・ぎふチャン、岐阜県教育委員会、岐阜県小中学校教育研究会
- 目的等 本県における統計知識の普及と統計の表現技術の研さんを目的に、全国コンクール推薦作品の選考を兼ねて毎年開催

- グラフの課題及び評価のポイント  
全国コンクールに準じる

- 審査委員
 

統計調査員代表者 .....	1名	}	7名
県小中学校教育研究会推薦者(教員) .....	3名		
県教育委員会教育研修課(教員) .....	1名		
岐阜新聞社(NIE担当) .....	1名		
県統計課職員(教員) .....	1名		
- ※ 岐阜県危機管理部長賞については、危機管理部において審査した

- 応募作品数の推移

	第1部 (小1・2)	第2部 (小3・4)	第3部 (小5・6)	第4部 (中学)	第5部 (高校一般)	パソコン統計 グラフの部	計
平成26年度	260	301	244	142	3	67	1,017
平成27年度	280	295	217	130	2	62	986
平成28年度	284	311	207	133	1	54	990

- 入賞区分及び入賞作品数

入賞区分	第1部 (小1・2)	第2部 (小3・4)	第3部 (小5・6)	第4部 (中学)	第5部 (高校一般)	パソコン統計 グラフの部	計
岐阜県知事賞	1	1	1	1	0	1	5
岐阜新聞・ ぎふチャン賞	1	1	1	1	1	1	6
入 選	3	3	3	3	0	3	15
佳 作	5	5	5	3	0	2	20
奨 励 賞	10	10	10	5	0	2	37
危機管理部長賞	0	0	1	1	0	0	2
計	20	20	21	14	1	9	85

※ 上位26点(知事賞5点、岐阜新聞・ぎふチャン賞6点、入選15点)を全国コンクールに推薦

## 総 評

岐阜県統計グラフコンクールは今年度で64回目を迎えました。その歴史は古く、審査を行いながら、本コンクールが岐阜県の伝統として深く根付いていることを出品作品一つ一つから強く感じました。

本県の作品は、全国コンクールにおいても毎年高い評価を得ており、その質の高さが全国からも注目されております。昨年度も、本県の入賞作品27点を出品し、8名の方が受賞（入選2名、佳作6名）されました。これもひとえに、関係者の方々が統計知識の向上と統計の表現技術の向上を目的とした本事業の趣旨をご理解いただき、積極的に啓発及び指導いただいた成果だと感謝しております。

さて、今年度は、県内各地から990点の作品が寄せられました。題材では、学校や家庭に関する内容、地域に関する内容など、身近な話題をテーマに取り上げた作品から、健康や防災に関する内容、福祉に関する内容など、今日的な話題をテーマに取り上げた作品まで、多岐にわたり、出品されました。

全体的には、応募された学年、年齢に応じたテーマの設定がなされており、時間をかけてじっくり取り組まれていることが、グラフの色や配列の仕方の工夫から伝わってきました。また、単に何かを調べたり、観察したりするだけでなく、そこから何を伝えたいのか、タイトルの言葉一つ一つまでこだわり、限られた用紙の中に込めた作者の強い主張や熱意、そして感性や努力をも感じる力作が数多くありました。

作品の各部ごとの概要は次のとおりです。

第1部 「言って言われて えがおいっぱい ポカポカことば」「もりもりたべて おおきくならう！ーめぎせ！！6ねんせい！ー」など、学校や身近な生活の中から興味を持ったことを題材として調べ、まとめた作品が数多くありました。

第2部 家族の絆について考えた作品「もっと お話聞いて！」、健康の大切さを主張した作品「頭も体もスッキリ元気！ すいみんって大事だね！！」など、自分の日常生活の中の疑問や大切にしたいことを題材として調べ、まとめた作品が数多くありました。

第3部 「地震 その時あなたは？」「超高齢化社会 どう考える」など、身近な生活場面から、自然災害や社会情勢などに視野を広げ、他人事で考えるのではなく、自分たちにできることは何かを主張した作品が見られました。

第4部 「人類の希望？脅威？ ～人工知能に負けるな！～」など、将来に起こ

り得る課題を題材にしたり、出典を明確にした統計資料を活用したりするなど、発達の段階の高まりを感じた中学生らしい作品が数多く見られました。

第5部 児童虐待の現状に対する危機感を主張した作品「児童虐待とその対策は」が出品されました。グラフからどんな対策が考えられるのか、標題の言葉にこだわることで、主張点を明確にした作品に仕上げられていました。

#### パソコン統計グラフの部

小学生から高校生まで幅広い年代から調査した作品「「ストレス」はある？どこにある？」など、主張点を明確にするために、パソコンの機能を生かしてグラフを選択したり、配置を工夫したりした作品が見られました。

最後にさらにより主張点が明確になり、よりよい作品にするために気を付けるとよいことについて何点か示します。これらのことに留意し、来年度も優れた作品が多数出品されることを期待します。

#### 【グラフの正確性】

- ・活用しているグラフがどの種類（「長さ」「面積」「体積」「角度」「傾き」「個数」）で表すのかを明確にし、正しく表現しましょう。
- ・グラフを立体で表す時には、グラフの基準の位置や目盛り、角度によるズレなどに気を付け、正確に表しましょう。

#### 【構成・レイアウト】

- ・主張点が伝わるタイトルを設定していきましょう。そのために、設問にストーリー性を持たせたり、矢印や配置によってつながりを持たせたりするとより主張点が明確になりやすいです。
- ・他の人にみてもらうことを考えて、文字やグラフの大きさ、形、色使い、配置などにも気を付けましょう。

#### 【その他】

- ・第三者が作成した著作物の使用は、利用許諾の有無にかかわらず、実施要領で禁止されていますので、注意しましょう。（第三者が作成したイラストや写真、ホームページに掲載されているグラフをそのまま転載した例がありました。）